

【「読む」と「書く」との活用問題 解答】

1

一 (1) 4

(2) おどる人と一体となって、じかにおどりを楽しむことができること

※書き方が「演舞場のよき」と同じような書き方（文末は「できること」であれば可。

二

ア 250  
イ 午前11時

※「午前」や「時」を使い正しく時刻が書けていること。

(1)

例 集合時こくにおくれな  
いように来てください。

例 おどり体験を楽しみ  
ましょう。

※前の文をうけ、おどり体験をするために、一緒にいく友達に対しての言葉として、一文で書いていれば可。

(2)

2

一 一人が一日に使う水の量

二 例 歯みがきをするときは水を出しっぱなしにしないことや、おふろの残り湯はせんとくに利用して水をせつやくすることである。

※「水の使用量を増やさないために気をつけていくこと」について、ポスターの[ア]から[エ]の中から二つ選び、四十字以上六十字以内にまとめて書いていること。

3

一 2

二 例 (その活動とは) 中国からトキを借りてトキを増やす活動と、トキが住みやすいかん境を作るための活動でした。

※同意可。「二つの活動」が書けていること。三十五字以上五十字以内で書いていること。

4

一 4

二 例 (ゆずの果汁とレモンの果汁を比べると) ゆずの方がレモンより、カルシウムが多くふくまれている。※同意可。

三 例 (その理由は) ゆずの皮にふくまれている油分で血液の流れがよくなり、体が温まるからです。また、かおりが広がり、いい気分になるからです。(59字)

※同意可。四十字以上、六十字以内で書いていること。

5

一 A 4 B 1

二ア 国際交流 イ(リハビリなどの) 医りようの方法の一つ ウ 最先たん技術

※ひらがなでも可。ア「日本の伝統を伝える国際交流」でも可。イ「リハビリ」または

「医りようの方法」だけでも可

三例 長い歴史をもち、たくさんの人に愛されているだけでなく、さまざまな可能性をもつ折り紙は、日本のすばらしい伝統文化だと思う。(60字)

※同意可。四十字以上、六十字以内で書いていること。

6

一 3

二 2・4 ○両方合っていること。順不同。

三例 (草食動物の) すいみん時間は短く、食べながらねむったり、立ったままねむったりしている。(36字)

※同意可。二つの記事を使って書いていること。「…たり、…たり」という言葉を使って一文で書いていること。三十字以上四十字以内で書いていること。

7

一 3

二 2

三ア 例 (西川さんは) 心のすれちがいをえがいたほかの物語を(読むこと)によって

例 (西川さんは) あまんきみ(作)おにたのぼうし」と重ねて(読むこと)によって

イ 例 (こんの) つつみやあき悲しさをより強く感じる(こと)ができたのだと思います。(

※西川さんの読み方や感じ方を、「西川さんが作った読書新聞」の言葉を使って書いていること。前後の言葉につながるように書いていること。